

## 組みひもセンサーで人やペット見守り 帝人など開発

2017年1月13日03時57分

シェア

23

ツイート

list

ブックマーク

32

メール

印刷



体の動きを感知する「圧電組みひも」を使った靴＝東京都千代田区



帝人と関西大学は12日、伝統工芸の「組みひも」を使ったセンサーを開発したと発表した。人やペットが身につけることで、特定の動きを感知できるという。1～2年後にも遠隔から見守れるサービスを始め、医療やアパレル分野での実用化をめざす。

加えられた力を電気信号に変える性質がある繊維を使った。この繊維(太さ0.3～0.4ミリ)を編んで組みひもにした後、複雑に結んだ「飾り結び」にして身につけることで、結んだ形に応じて必要な動きだけを信号化できる。データをスマートフォンなどで確認できるようにしたという。

帝人などは、飾り結びにしたものを靴ひもや首飾りにすることで、家にいる高齢者やペットの動きを伝えるサービスを検討していく。医療のリハビリ支援やゴルフのスイング確認などにも役立つという。関大の田実佳郎教授は「スマートセンサーとして形も自由に変えられ、日常でも使いやすい」と語った。和装などで使う組みひもは日本伝統の工芸品で、大ヒットしたアニメ映画「君の名は。」で主人公が身につけていることでも話題となった。